今月も **12** 日が来ました!先月に引き続き、岩井大インタビュー記事です。今回は完結編! おかげさまで、先月のインタビュー記事はページ別アクセス数月間トップ!加えてブログアクセス数も **12** 日が月間トップでした!ありがとうございます!題材が良すぎましたね **d(̄ ̄)**ちなみに今回は取材後記もあります。ぜひ読んでみて下さい。

2012-04-12 12:00:00

ボクシング世界チャンプへ世界最速独占インタビュー後編

テーマ:マイナースポーツ

史上3人目のユース世界チャンピオンになった、岩井大選手。

前回はボクサーの生活のリアルとセカンドキャリア、試合の興行権の話について語って頂いた。

後編となった今回、ボクシングにおけるプロ・アマチュアの違い、WBC ワールドカップ、岩井選手の座右の銘について話は及んだ。

―ボクシングはオリンピック種目でもあるよね

オリンピックの出場資格者はアマチュアだけ。あと、アマチュアとプロって別競技だと思った方が良いよ。どうしてもアマチュアが下で、プロが上ってイメージが拭えないと思うけど、同じラインで別競技と考えた方が正しい。

プロはパンチを当てて(相手を)倒す事が目的で、アマチュアはパンチを沢山当ててポイントを稼ぐってイメージ。そういう風に(判断 基準が)分かれている競技。

実際にアマチュアのインターハイとか日本一になった選手と、プロの4回戦クラスだと、プロも分が悪い事が多い。むしろアマチュアの金メダリストは、プロの世界チャンピオンより強い事もある。

―そういうものなんだね

そういった意味で、まだ世間のボクシングに対する認知がずれている所もあるよね。オリンピックに出られるような選手は、日本チャンピオンになれる素質は十分。

―ボクシングって、サッカーでいうW杯とかアジア杯みたいな大会は無いの?

それが今年から出来たよ。

WBC ワールドカップっていうんだけど、毎年5月から12月にかけて、全17階級の約半分の8階級ずつが、毎年交互に分けられてトーナメントを闘うもので、出場資格は、各階級のインターナショナル王者、シルバー王者とかに与えられるみたい。

概要が難しいんだけど、例えば、初年度のワールドカップはミニマム級・フライ級・バンダム級・フェザー級・ライト級・ウェルター級・ミドル級・ヘビー級の8つでトーナメントが開催されて、翌年度は今挙げた階級以外の階級で、トーナメントが開催されるって事。これはとんでもないファイトマネーになるみたいだね。1回戦が500万で2回戦が600万で決勝が2000万くらいの。

―それすごい面白そう

すごいよね。昨年末、WBC 協会の総会で発表されて、今年から実施される事になってる。

―ちなみに協会って WBA っていうのもあるよね

そう。WBAとWBCがあって、世界ボクシング評議会(WBC)と世界ボクシング協会(WBA)で日本が認めてる団体がこの2つなんだよ。

―それぞれその2つどちらかの団体に所属するわけか。違う団体に所属する人同士で試合したりしないの?

するよ。違う団体のチャンピオン同士が試合する事になると、それが「統一戦」って形になる。

- ―統一戦ってそういう意味合いなんだね
- ―ちなみに今後の短期的な目標ってある?

23歳以下の世界チャンピオンになっても、国内を取らない限りは、実力が証明されないわけよ。楽したマッチメイクで取ったんだろって思われがちだから。日本チャンピオンを取らないと、日本ボクシング協会的にも認知度が上がらないし、実力が証明されない。 だから25歳までに日本チャンピオンを取りたい。

―ボクシングって現役期間比較的長い?

戦い方次第だね。昔のボクシングの考え方って、殴られても殴り返して勝つっていうのがあったけど、今俺が思うのは、いかにパンチを貰わないで当てるか。日頃のスパーリングからそういう事を心掛けていれば、脳へのダメージの蓄積が少なく済む。それが現役を長く続けられるようになるコツだと思うよ。俺も日頃からパンチをいかに殺すかであったり、パンチを貰わないよう心掛けてる。

―ここで再び、岩井選手にとって「移籍」はどういう影響を及ぼしたのか話して貰った。

俺、ジムを移籍するのに時間が掛かって、6カ月間くらいちゃんとしたジムでまともに練習できなかったんだよ。

だから三迫ジムに移籍するまでの間、まともにサンドバックも打てずに、当たり前のように出来ていた事が出来なくて、宙ぶらりんな 状態にいた時に、自分がどれだけボクシングが好きかって気付いた。

だから自分の好きな事に正直になろうと思って、向こうのジムに移籍したら、好きな事を好きなだけやろうと思った。ってなったら、 日中歩いてる時に、バランスの中心を考えながら歩いたりとか、コップを持つ時も、理想の拳の握り方を意識しながら持ったりとか、 そういう事を意識しながら、日常生活にボクシングを織り交ぜながら生活するようになった。

それって1日24時間の内、15時間くらいボクシングと一緒に生活してることになるから、そしたら1日練習の3時間くらいしかボクシングの事を考えていない人と、どんどん差が出てくると思う。そういう所で、他人とは違うようにしていかないと、チャンピオンにはなれないなと思う。

―人がやってない時に、いかにやるかという事だね

そうそう。挫折じゃないけど、それは一度ボクシングから離れて気付いた事だね。ボクシングがめちゃくちゃ好きだって事も。好きって気持ちが一番強いと思うんだ。結局は。結果的に移籍問題でこの事に気付けて良かったと思ってる。こういう風にポジティブに物事を捉える事が、成功する上でも大事になってくる。これは俺の座右の銘である「偶然ではなく必然」っていうのにも繋がってくる。

―そこらへんについて詳しく聞かせて貰えるかな?

移籍問題ですごい経験をしたけど、それはもう全部必然で、自分がボクシングが好きだって気付ける、良い経験になったっていう風に捉える事によって、プラスになるわけじゃん。マイナスになることなく。だから今の俺は本当にポジティブでいられるよ(笑) 偶然ではなく必然っていうのを座右の銘にして、常にそういう考え方にしていたら、自分に対するストレスが圧倒的に変わった。 最近は本を読む事の大切さにも気付いて、自己啓発本とかノンフィクション物の本を良く読むようになった。本を読む事で色々な人の考え方に触れられるし。自分の為になるものが多いと感じるから。ボクシングが俺にとって何やるにしても一番だから、それに繋がるような本には興味がある。

―全部がボクシングに結びついているし、結びつかせるような考え方をしているって事だね

そうそう。結びつかせるような考え方をしているって言う方が正しいかな。

―そういえば、署名は最終的にどのくらい集まったの?(岩井選手はジムを移籍するにあたり、署名運動を行っていた)

5600人分くらいかな。結構署名して頂けたよね。

―それを見て、また更に気持ちに変化が出たんじゃない?

それは大きかったよ。署名って個人情報なわけじゃん。それを、俺が頑張ってる事に対して、賛同してくれた人が書いてくれてるわけだから。本当にありがたかった。

応援してくれている人に応える為には、頭下げてありがとうございましたって言ってるだけじゃダメだし、こうやって結果を出す事で、 認知度が上がって俺が有名になることがやっぱり恩返しにもなるからさ。

まだまだ全然返せてはいないけど、これから先、署名でお世話になった人達には、世界チャンピオンになることで恩返ししたいと思ってる。

取材後記

私が友人である岩井大選手と出会ったのは、高校2年時に同じクラスになった時だった。その当時から、誰よりも友達を大事にし、 周囲の期待に応えようとしている印象を受けていた。そしてその印象は今も変わっていない。むしろ移籍期間を経て、そういった想 いを更に強く持つようになったとさえ感じる。 ここで唐突だが、1人のサッカー選手が試合中ボールに触っていられる時間は、どのくらいかご存じだろうか。一般的には3分程度と言われている。90分の内、たったの3分である。その3分間で最高の結果を残す為、残りの87分間をいかに有効に使うか思案し、アクションを起こしている。

岩井選手の場合はそれがボクシングだった。1ラウンド3分間、12ラウンド合計36分間の為に、残りの時間をボクシングの為に費やしてきた。それはインタビューからも推し量ることが出来るであろう。だからこそ、史上3人目のユース世界タイトル手中に収める事が出来た。

これを踏まえ、皆さんにもこの尺度を変えて考えてみて欲しい。

皆さんは、自分が大切にしている人・物事と向き合う時間の為に、1日24時間をどのように過ごしているだろうか。 スポーツ選手のように、自分が大事にしているモノの為、他の時間のほとんどを費やす事は、容易な事ではない。 がしかし、少なくとも頭の片隅に置き、空いた時間にいつでも引き出せるような状態でいる事が、各々が望む最高の結果をもたらす 一つの要因になることは間違いない。

家族・友人・三迫ボクシングジム関係者ならびにボクシングファン。プロボクサーである岩井選手が背負うものは私達が想像する以上に多いはずだ。しかし岩井選手はそれすらも力に還元し、揺るぎない信念のもと、己の拳一つで世界を取りにいくだろう。 あらゆる想いをその拳に乗せ、頑張れ、岩井大。

Written by 関谷秀

岩井大選手の個人ブログもよろしくお願いします。